

(2/17 金)

# 入院医療機関に協力金

## 年末年始 新規1人20万円

### 大阪府方針

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、大阪府は年末から新規感染者の入院を受け入れる府内の医療機関に対し、患者一人当たり20万円の協力金を支給する。PCRなど検査の実施に協力した医療機関についても、一人当たり1万円を支給する。

府関係者によると、入院協力金の対象は、コロナ患者を受け入れている府内約70の医療機関。期間は12月29日～1月3日の6日間で、新たな入院患者を受け入れる場合は1人につき20万円を支給するという。

一方針を決めた。府関係者への取材で判明した。医療機関の休診が年末年始に相次ぐことで、医療体制が切迫する状況を防ぐ狙いがあ

しており、予算総額は約4億円を見込んでいる。府は3日、感染拡大で医療崩壊の危機が迫っているとして、独自基準「大阪モデル」に基づき、非常事態

を示す「赤信号」を初めて点灯させた。6日現在の重症者用の病床使用率は68.4%で、軽症用等症者用も55.8%以上っている。

年末年始は休診する医療機関が多いことが見込まれており、府は現在の感染状況を踏まえ、医療体制の切替状況に歯止めをかける支援策を検討していく。

【吉村信美】